

タウンミーティング記録 未来へ向けて 今、ここから

日 時 令和6年6月29日(土) 午後2時～3時30分
場 所 赤土原会館（赤土原町会）
参加者 37人



主な意見等

- 参加者 冒頭の市長が説明された昔の映像を観て懐かしく思いました。
上福岡駅舎は東上線内では初めての橋上駅舎で、アメリカのカーネギー社製のレールが駅舎建築の資材として使われていました。
さて、桜通りの Big-A 大井亀久保店が立地する交差点から右折して大型車が入ってくる問題があり、一昨年には狭い道に大型トラックが入り込んで無理に U ターンしようとしたところ物損事故を起こした出来事がありました。
大型車が入って来られないように、道を狭めて入りにくくする方法や水が入ったドラムを両側に設置して、大型車の運転手にこの先は狭い道であることを予告するような物を設置することはできないでしょうか。
- 市 長 地域の道路事情を知らない大型車が狭い道に入り込んで無理に切り返して U ターンする迷惑なケースがあります。狭い道であることを予告する看板等が設置できるか担当部署と検討します。
道路管理者として警察と協議をする必要がありますが、貴重な意見として参考にさせていただきます。
- 参加者 クリーン推進員の会議は年4回夜間に本庁開催になっていますが、夜間に移動するのは不便なので内2回は大井総合支所にて開催する

ことはできないでしょうか。

以前に担当課にその旨を提案したところ、会議の開催場所は決定していることなので変更は難しい言われました。

市長 クリーン推進員は各自治会から2名を選出していただいているので、現役で仕事をしている方や幅広い世代の方が参加していただいているため夜の開催になっていると思われま。

推進員の会議の定数は約100名になるため、昼と夜2回に分けて開催することや本庁と総合支所で2回に分けて開催することについても検討するように担当部署へ指示します。

参加者 個人情報保護の観点もあると思いますが表札プレートを付けていない新しい家が増えています。また、電柱に貼り付ける住居表示プレートも減っているように思います。

住民からすると道案内をするにも分かりにくい状況になっているため、市の方で住居表示を設置するように指導することはできないでしょうか。

また、西側地域は片側しか歩道が無い所が多いように見えますが、東側地域や大井東台地区は両側に歩道が設置されている場所が多い印象が強いです。例えば文京学院大学前の通りは自転車の交通量が多く歩行者の立場からすると怖いです。

住宅が建って開発が進んでいる状況のため歩道の設置は難しいかもしれませんが要望します。

市長 住居表示につきまして表示するプレートの設置義務はありますが罰則はないです。市民の方には住居表示のプレートをお渡しする際に、これまでの口頭での説明に加え、書面の配付も行っています。ただ、表札の設置につきましてはあくまでも個人の意思を尊重することになります。

また、東側地域も両側に歩道がある場所は限定的であり、上野台団地と霞ヶ丘団地の再開発に伴い整備がされた場所と区画整理によって整備された場所は歩道が設置されていますが、旧上福岡市と旧大井町は昭和40～50年代に急速に人口が増加した地域のため、区画整理を行っていない地域では道路の整備が間に合っていない状況のため、農道がそのまま一般道路になってしまった道も多くあり、歩道の整備については両地域に差は無いのが現状です。可能な限り安全面を考慮しながら整備について配慮していきたいと考えています。

参加者 市民便利帳には広告が多く掲載されていますが、ふじみ野市の折り畳みの地図についても、同じように広告を入れて3年に1度位の期間で発行することはできないでしょうか。

市長 市民便利帳は広告費で制作と配布に掛かる費用をすべて賄っていますが、市で発行している地図は住宅地の表記というより、公共施設の案内を目的としており、施設が新たに配置された場合や配置が変わった時に地図を変更して発行しているものです。

地図に広告を掲載すると紙面を割いてしまい、折り畳みのサイズに収めるのが難しくなります。いただいたご意見も参考にさせていただきます。

参加者 この地域は非常に地盤が強く、水が美味しい場所だと聞いています。岡山県で水道水から有機フッ素化合物 PFAS（ピーファス）が高濃度で検出され全国的に問題になっていますが、ふじみ野市の地下水の数値はどのような状況でしょうか。

市長 PFASの件は全国的に河川や水道所業で高濃度な値が検出されて問題になっており、国からも各自治体に調査を行うようにと通達が来ています。ふじみ野市は通知が来る前に調査を行っており1リットルあたり0.000005g(5ナノグラム)という数値のため、1リットルあたり50ナノグラム以下基準を大きく下回っており極めて安全な状況です。

参加者 近くに災害用の井戸がありますが、非常時に給水はできる体制になっているのでしょうか

市長 災害時に飲料用として使える装置が設置できる井戸と、付近の環境や道路事情によって装置を設置するのが難しく使えない井戸があり、この近くにある井戸は直接飲料としては使えない井戸です。

生活用水用の井戸は各避難所がある学校に設置してあります。

飲料水用の井戸は西ノ原中央公園に設置してあり、また、水道水は災害が起きても全ての水道管が壊れるのではなく、使用できる水道管から浄水場へ供給され、その水を貯留槽という常に新しい水が残る施設が市内に2カ所あります。飲料水用としては地下200メートル以下の層からくみ上げた水しか使用できず、さらにその水は浄水場で処理してから使われます。浅い層からくみ上げた水は肥料に使われる硝酸態窒素が混入してしまう場合があります。飲料水には適しません。浄水場には硝酸態窒素が混入した場合のために除去装置が設置してありま

す。

また、行政では井戸や水道水以外にも災害用のペットボトル飲料水も備蓄はしていますが、各家庭でも災害が起きてから初動の72時間分の備蓄をしてもらいたいと考えています。

参加者 町会自治会の名称は住居表示とは違うように思うのですがどうなのでしょう。

また、町会自治会への加入率が減ってきていますが、例えば町会名を地域名ではなく、ひまわり町会、あったか自治会など親しみがある名称に変更を検討されて市民が加入しやすいようにイメージを変えてみてはいかがでしょうか。

市長 名称は住居表示とは必ずしも一致はしていません。例えばコスモふじみ野町会というマンション名が町会名になっているケースもあります。町会名を変更するには町会内で合意が必要ですが、親しみのある名称に変えてみてはという提案は夢があるので貴重な意見として参考にさせていただきます。

タウンミーティング後に追加された意見

参加者 この辺りの道路の管轄は国、県、市のどこになるのでしょうか。赤土原会館周辺の道路の凹んでいる箇所と白線が薄くなって見にくい箇所がありますので注視していただきたいです。

市長 赤土原町会内の道路は、市道と私道が混在しております。赤土原会館周辺の市道舗装につきましては、現地を確認しながら舗装や区画線修繕を実施してまいります。なお、停止線など警察が管理している部分につきましては、東入間警察署へ要望してまいります。